

様式第6号－2（第14条関係）

地域まちづくり推進事業実施報告書

1 事業実施者	団体名 西神居地区防災会議
2 募集区分	<input type="checkbox"/> <u>子どもの居場所づくり事業</u> （子育て支援部子育て支援課） <input type="checkbox"/> <u>困っている人たちの共助の居場所づくり事業</u> （福祉保険部福祉保険課） <input checked="" type="checkbox"/> <u>逃げ遅れゼロの地域づくりプロジェクト事業</u> （防災安全部防災課）
3 事業の名称	逃げ遅れゼロの地域づくりプロジェクト事業
4 事業内容	<p>西神居地区的市民委員会や町内会、消防団、地区社協、包括支援センター等の各種団体が、安全安心に暮らすことができる地域づくりを目指し、地域住民へのアンケート調査やグループワークを通じて地区防災計画を作成し、地域住民へ配布した。</p> <p>・実行委員会 3回（7/19(水), 11/17(金), 2/1(木)） ・地域住民へのアンケート調査 1回（7/26～8/18） ・グループワーク 1回（11/17(金)）※再掲</p> <p style="text-align: center;"><u>実施回数：3回 参加人数：延べ31人</u></p>
5 事業期間	令和5年 7月 19日から 令和6年 3月 15日まで
6 成果と課題	<p>地域住民へ実施したアンケート調査では、「過去に地域で発生した災害」として、大雨による川の氾濫（石狩川・内大部川・オロエン川・オロチョン川）が挙げられ、「災害が発生した場合の不安なこと」としては、高齢、独居、車がないなどの理由による避難所等への移動困難、土砂災害等による道路障害と地域の孤立が挙げられた。</p> <p>グループワークでは、地域課題として、高齢化が進んでいるため、消防団業務に団員が専念すると避難所運営などの活動ができる人数に限りがあること、道路の寸断により行政の応援が届かず孤立した場合に備える必要があること、住民登録だけで実際には居住していない人や長期間不在の人、自力で避難できない人などの情報を町内会として把握しておくことなどの意見が出された。</p> <p>今後は、個別避難計画を作成し避難行動要支援者等の支援体制を構築するとともに、作成した地区防災計画に基づき、地区住民が主体となり防災訓練等を実施する。</p>

収支決算書

事業の名称	逃げ遅れゼロの地域づくりプロジェクト事業		
団体名	西神居地区防災会議		

1 収入の部

(単位：円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	差 (B-A)	収入内訳
負担金	100,000	100,000	0	旭川市負担金 (地域まちづくり推進事業負担金)
合 計	100,000	100,000	0	

2 支出の部

(単位：円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	左のうち 負担金対象経費	差 (B-A)	支出内訳
使用料	3,540	0	0	△ 3,540	
食糧費	11,250	2,888	2,888	△ 8,362	会議用お茶代 2,888
印刷費	85,210	97,112	97,112	11,902	防災マップ印刷製本代 97,112
合 計	100,000	100,000	100,000	0	